

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【公開番号】特開2009-259401(P2009-259401A)

【公開日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-044

【出願番号】特願2009-186220(P2009-186220)

【国際特許分類】

G 11 B 7/135 (2006.01)

G 11 B 7/09 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/135 Z

G 11 B 7/09 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーザ光を発するレーザ光源と、

前記レーザ光源が発するレーザ光を回折させて、少なくとも3本の光束に分岐させる回折格子と、

前記レーザ光源が発するレーザ光を光ディスクに集光させる対物レンズと、

前記光ディスクからの反射光を検出する検出器と、

を有し、

前記回折格子は、所定の周期構造を有する、第1の領域、第2の領域、第3の領域の少なくとも3つの領域に分割されており、

前記第1の領域は、前記第2の領域と前記第3の領域の間に配置され、

前記第2の領域を回折した第2のレーザ光の平均的な波面位相と前記第3の領域を回折した第3のレーザ光の平均的な波面位相は、前記レーザ光の波長の略2分の1に相当する量だけ乖離しており、かつ、前記第1の領域を回折した第1のレーザ光の平均的な波面位相は、前記第2及び前記第3のレーザ光の平均的な波面位相の間に存することを特徴とする光ピックアップ。

【請求項2】

レーザ光を発するレーザ光源と、

前記レーザ光源が発するレーザ光を回折させて、少なくとも3本の光束に分岐させる回折格子と、

前記レーザ光源が発するレーザ光を光ディスクに集光させる対物レンズと、

前記光ディスクからの反射光を検出する検出器と、

を有し、

前記回折格子は、所定の周期構造を有する、第1の領域、第2の領域、第3の領域の少なくとも3つの領域に分割されており、

前記第1の領域は、前記第2の領域と前記第3の領域の間に配置され、

前記第2の領域を回折した第2のレーザ光の平均的な波面位相と前記第3の領域を回折した第3のレーザ光の平均的な波面位相は、前記レーザ光の波長の略2分の1に相当する

量だけ乖離しており、かつ、前記第1の領域を回折した第1のレーザ光の平均的な波面位相は、前記第2及び前記第3のレーザ光の平均的な波面位相と異なることを特徴とする光ピックアップ。

**【請求項3】**

前記光学的情報記録媒体の記録面上に周期的に配置された案内溝に対して略直交する方向に関して前記3個の集光スポットを略ゼロもしくは前記案内溝周期の略整数倍の間隔で配置したことを特徴する請求項1記載の光ピックアップ。